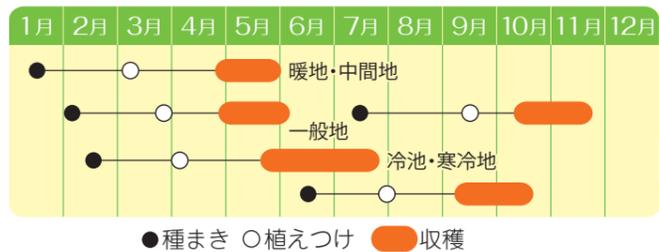


栽培カレンダー



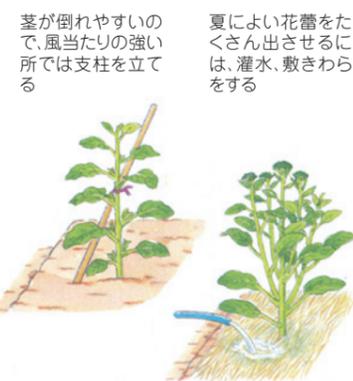
「家の光」2017年6月号
「家庭園芸」



栽培のポイントとして、太くて良質な花茎をたくさん出させるには、元肥により堆肥と有機質肥料を十分に施すこと。頂花蕾は早めに収穫し、側花蕾の伸びを促すことがたいせつです。収穫期に入ったら、追肥を怠りなく施すこと。また、夏に乾燥が激しければ、灌水と敷きわらをしましょう。分岐が多く、株の上方が重くなりがちなので、支柱を立てて倒状を防ぎます。

JA愛知西オリジナルキャラクター「レキ」

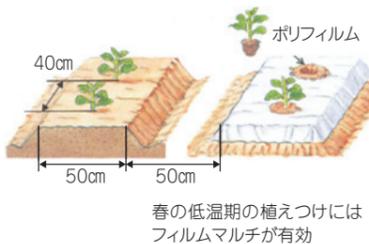
5 支柱立て・管理



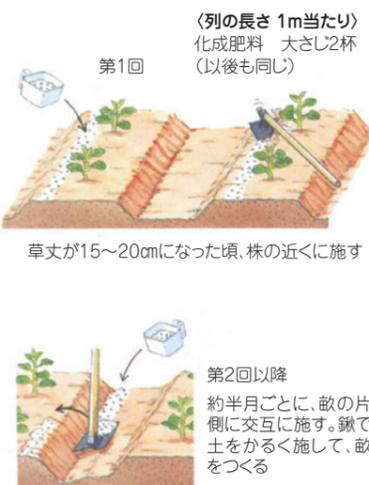
6 収穫



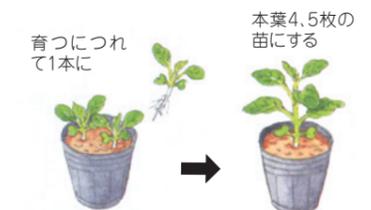
3 植えつけ



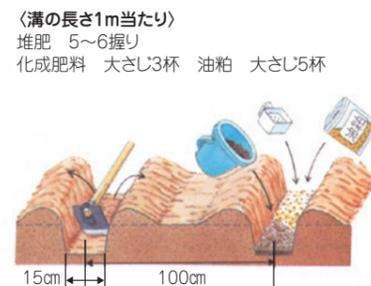
4 追肥



1 苗作り



2 元肥入れ



和洋に使える重宝野菜
スティックブロッコリー

花茎が長く伸び、先端に小型の花蕾をつける新タイプのブロッコリー。茎ブロッコリー、スティックセニョールとも呼ばれます。

茎は柔らかく、甘みがあり、ブロッコリーとはひと味違って、和食に洋食にと、使い道が開けます。暑さにも比較的強く育てやすく、長いあいだ収穫を楽しむことができる重宝野菜です。

○収穫した野菜を産直広場で販売してみませんか?
只今、産直会員募集中!お申し込みは、最寄りの産直広場へ!

農畜産物の販路拡大

前月号では、インショップ事業で産直野菜の販路と販売に大きな成果を挙げることができた株式会社農業総合研究所をご紹介いたしました。今月号は、共選野菜の販路拡大に向けたインショップ事業の取り組みをご紹介いたします。共選とは、共同選果の略で、各出荷組織が定めた選別基準に沿って、生産者の皆様が選別した野菜のことをいいます。出荷基準に沿って選別された野菜は、形や大きさが揃っており、市場では高値販売が期待できます。一方で、市場販売は運賃や市場手数料などの経費が掛かり、生産者の手元に残る金額が減

イオン木曾川店で販売PR!

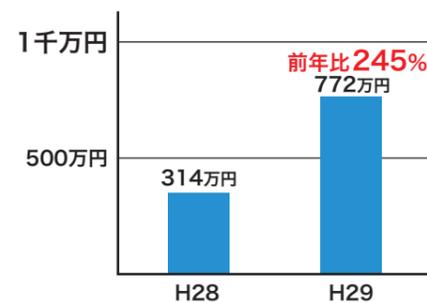


産直広場全店舗で販売PR!



少してしまいます。当JAでは、生産者の皆様に1円でも高く販売金額が手元に残るよう、市場より高値で共選野菜を買い取り、当JA産直広場や一宮市にあるイオン木曾川店の店内に設けたスペースで販売をしています。運賃や市場手数料を必要としないため、生産者の皆様の手元に残る金額は市場出荷よりも多くなります。このように、当JAではインショップ事業で共選野菜の新たな販路を拡大させ、農業者の所得向上に全力で取り組んでいます。

JA買取 共選野菜インショップ販売実績



共選野菜のインショップ販売は、平成28年からイオン木曾川店での販売が始まり、平成29年度からは当JA産直広場全店舗での販売を開始しました。平成30年度は、前年以上の販売金額を目指して取り組んで参ります。

目標は昨年よりも多く販売すること!



JA愛知西オリジナルキャラクター「ケン」

共選野菜編

地元産をPR!

株式会社オークワが
JA愛知西フェアを開催!

和歌山県に本社をおくスーパーマーケット「株式会社オークワ」は4月29日、当JA管内の農産物をPRしようと、愛知県と岐阜県の計6店舗で「JA愛知西フェア」を開催しました。今回のテーマであるインショップ事業では、青果市場の提案によって実現した今回のフェアでは、当JAの共選野菜の消費拡大と産地のPRに大きく貢献いただきました。今後も生産者の皆様が丹精込めて栽培した野菜を、多くの消費者にお届けできるように青果市場や量販店とともに販売に力を入れて参ります。



↑PRしたのは、ナスやキャベツ、トマトなど8品目。店頭では、ナスを使った麻婆茄子を試食に振る舞って美味しさを伝えました。